

TV(1-12ch)/FM/AM PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-M760V

Sony Corporation © 1997 Printed in China

ラジオ
ICF-M760V

主な特長

安定した受信ができる、PLLシンセサイザー採用のTV/FM/AMポータブルラジオ。TV、FM、AM各7局、合わせて21局の放送局を記憶させること(プリセット)ができます。いったんプリセットしておけば、あとはプリセットボタンを押すだけでワンタッチ選局ができます。
アナログラジオ感覚でつまみを回して簡単に選局、周波数はデジタル表示されます。
デジタルクロック内蔵(めざまし機能/おやすみタイマー)。
家庭用電源、乾電池のどちらの電源でも使える2電源方式。

使用上のご注意

取り扱いについて

落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
次のような場所には置かないでください。
- 温度が非常に高い所(40以上)や低い所(0以下)。
- 直射日光のある場所や暖房器具の近く。
- 風呂場など湿気の多い所。
- 窓を開けた自動車内(特に夏季)。ほこりの多い所。
ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。
このときは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
キヤッショカード、定期券など、磁気を利用してカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響で、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、次のことを調べてください。

ボタンを押しても動作しない

→ホールド機能が働いている
ホールドボタンを押して、ホールド機能を解除してください。

表示窓の文字や記号が薄くて見にくい

→乾電池が消耗している
→極端に暑い場所や寒い所で使っている
→建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。
→電波が弱い

雑音が多く、音が悪い

→乾電池が消耗している
→電波が弱い

表示窓に「□」が点滅し、音が出ない

→乾電池が消耗している

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものであります。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ	
● ナビダイヤル	0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	
● 携帯電話・PHSでのご利用は	03-5448-3311
● Fax	0466-31-2595
受付時間:	
月～金	9:00～20:00
土・日・祝日	9:00～17:00

主な仕様

時計表示
周波数範囲

バンド	周波数範囲	周波数間隔
TV	1-12ch	1 ch
FM	76.0～90.0 MHz	0.1 MHz
AM	531～1,710 kHz	9 kHz

スピーカー
出力端子
実用最大出力
電源

直径12 cm、丸型 8Ω 1個
②(イヤホン)端子(Φ 3.5 mm ミニジャック)
400 mW (EIAJ*)
AC 100 V、50/60 Hz
DC 6 V、単1形乾電池4本

最大外形寸法
質量

約269.8×153×69.4 mm(幅/高さ/奥行)(EIAJ)
約1420 g(乾電池含む)

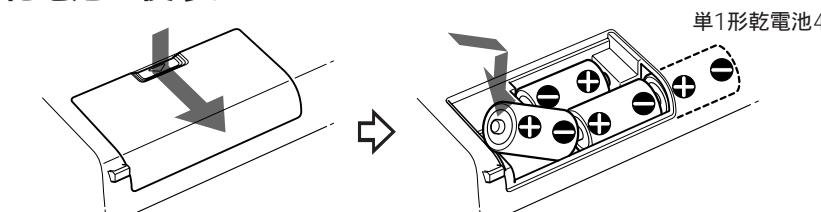
*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

付属品
電源コード(1)**、ソニー単1形乾電池(4)、取扱説明書・保証書(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)
**100 V専用のため、海外ではご使用になれません。
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

▶準備する

電源について

乾電池で使うには



1 電池入れのふたを開ける。

2 乾電池を入れる。

初めて乾電池を入れると、表示窓に「AM12:00」が点滅します。点滅を止めるには、現時刻ボタンを押します。時計を合わせるときは、「時計を合わせる」をご覧ください。

3 ふたを閉める。

乾電池の持続時間—ソニー単1形(R20)マンガン乾電池使用時(EIAJ*)

放送の種類	持続時間
TV放送	約120時間
FM放送	約150時間
AM放送	約190時間

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗していくと、音が小さくなったりひずんだりして、表示窓に「□」が点滅します。完全に消耗すると「□」が点灯して、ラジオが止まります。その場合は、乾電池を4本とも新しいものと交換してください。

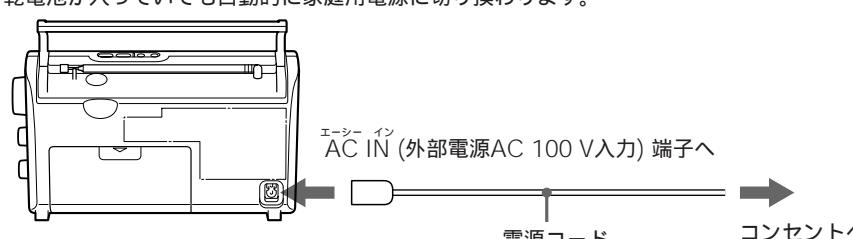
- ・交換するときは、電源を切ってから60秒以内に入れ替えてください。電源が入ったまま交換したり、交換中60秒以上経過すると、現在時刻やプリセットした局の記憶が消えてしまいます。その場合はもう一度設定しなおしてください。
- ・交換したあとは、電源ボタンをもう一度押して、表示窓の「□」を消してください。

ご注意

- ・長い間乾電池を抜いておくと、ご自分で記憶させた放送局や時刻設定は消えてしまいます。その場合はプリセットをやり直してください。
- ・長い間本機を使わない場合でも、時計と内蔵のマイコンのバックアップのため、乾電池は入れたままにしておいてください。この場合にも電池は消耗しますので約1年でお取り換えください。
- ・外部電源のプラグを抜き差しするときは、ラジオの電源を切ってから行なってください。乾電池が入っていると乾電池がまだ消耗していないのに「□」表示が出ることがあります。この場合、もう一度ラジオの電源を入れると表示は消えます。

コンセント(家庭用電源100 V)で使うには

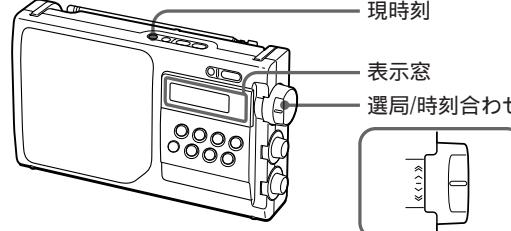
付属の電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。
家庭用電源でお使いのときは表示窓が照明されます。
乾電池が入っていても自動的に家庭用電源に切り換わります。



留守にするときは

旅行などで長い間ご使用にならないときは、電源コードをAC IN端子とコンセントから抜いてください。

時計を合わせる



1 現時刻ボタンを押したまま、選局/時刻合わせつまみを回して、時刻を合わせる。

へに合わせると時刻が進み、△に合わせると戻ります。
さらに回して△または□に合わせると速く変わります。

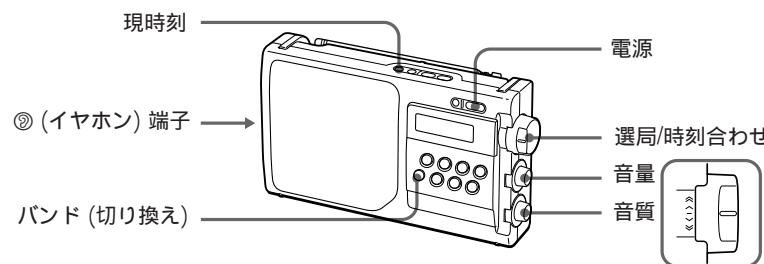
2 現時刻ボタンから指を離す。

表示窓の「:」が点滅を始め、時計が動き出します。

秒まで正確に合わせるには電話の時刻サービス(117番)が便利です。
AMは午前、PMは午後です。
AM12:00 = 真夜中 PM12:00 = 正午

▶ラジオを聞く

放送局を受信する —マニュアル選局(手動選局)



1 電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。

2 バンドボタンを押してAM、FMまたはTVを選ぶ。
押すたびにバンド表示が次のように変わります。

AM → FM → TV

3 選局/時刻合わせつまみを回して選局する。

受信周波数が自動的に変わり始めます。へに合わせると数字が進み、△に合わせると戻ります。AM、FMはさらに回して△または□に合わせると速く変わりますが、TVは速くは変わりません。

放送局を受信すると、放送が聞こえます。

4 音量つまみで音量を調節する。

5 音質つまみで音質を調節する。

イヤホンで聞くには

①(イヤホン)端子にイヤホン(別売り)をつなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。

TV放送(1-12ch)を聞くときは

バンドボタンを押してTVを選び、選局/時刻合わせつまみを回してテレビのチャンネルを選んでください。

電源を切るときは

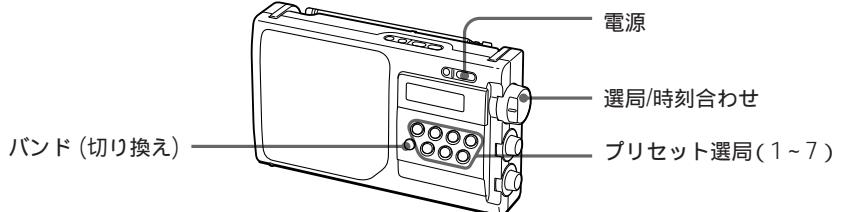
電源ボタンをもう一度押します。

ラジオ受信中に時刻を確認するには

現時刻ボタンを押します。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く —プリセット選局

いつも聞く放送局をTV、FM、AMに各7局、合わせて21局まで記憶させることができます。聞くときは、プリセット選局ボタンを選ぶだけで受信できます。



記憶させるには

- 1 電源を入れる。
- 2 バンドボタンを押して、TV、FMまたはAMを選ぶ。
- 3 選局/時刻合わせつまみを回して記憶させる放送局を選ぶ。
- 4 記憶させたいプリセット選局ボタン(1~7)を選んで「ピピッ」と音がするまで押したままにする。

受信している周波数が記憶され、表示窓にプリセット番号が表示されます。

例)プリセットボタン「2」にFM放送の90.0 MHzを記憶させたときの表示

FM

90.0

MHz

PRESET

記憶させたい放送局ごとに2~4の手順を繰り返します。

記憶させた放送局を変更するには

手順2からやり直してください。
前に記憶させた放送局は消えます。

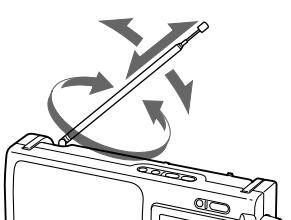
記憶させた放送局を聞くには

- 1 電源を入れる。
- 2 バンドボタンを押して、聞きたい放送局を記憶させてあるバンドを選ぶ。
- 3 聞きたい放送局を記憶させてあるプリセット選局ボタン(1~7)を押す。
- 4 音量と音質を調節する。

受信状態を良くする

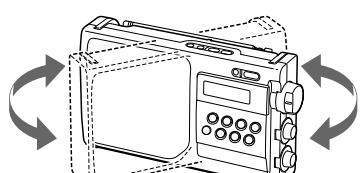
TV、FM放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が最も良くなるように長さや角度を調節します。



AM放送の場合

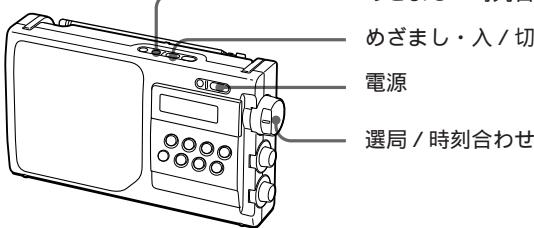
アンテナを内蔵しているので受信状態が最も良くなるようにラジオの向きを変えてください。



▶便利な機能

ラジオで目覚める—めざまし機能

設定した時刻になると、自動的にラジオの電源が入ります。時計を合わせてから操作してください。



1 電源を入れ、聞きたい局を選ぶ(「ラジオを聞く」参照)。

- 2 めざまし・時刻合わせボタンを押したまま、選局 / 時刻合わせつまみを回して時刻を合わせる。
時計表示が予約時刻表示に変わり、「①」が点滅します。
指を離すと時刻が設定されます。
- 3 めざまし・入 / 切ボタンを押す。
「①」が点灯し、設定が完了します。
- 4 電源ボタンを押して、ラジオの電源を切る。

設定した時刻を確認するには

めざまし・時刻合わせボタンを押します。

予約した時刻になると

放送を受信し、約60分後に自動的に電源が切れます。

めざまし機能を解除するには

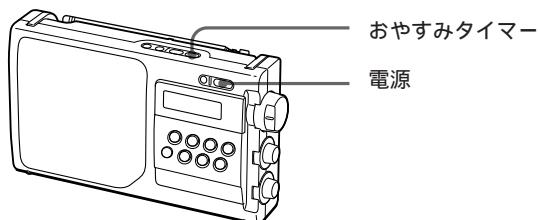
めざまし・入 / 切ボタンをもう一度押します。

ご注意

ラジオの電源を切っていないと、めざまし機能は働きません。
一度設定した予約は、めざまし・入 / 切ボタンを押して解除しない限り、毎日働きます。

ラジオを聞きながら眠る —おやすみタイマー

設定時間(60分)が過ぎると、自動的に電源が切れます。



1 電源を入れ、聞きたい局を選ぶ(「ラジオを聞く」参照)。

2 おやすみタイマーボタンを押す。

「」が点灯し、タイマーがスタートします。60分後に自動的に電源が切れます。

おやすみタイマーを解除するには

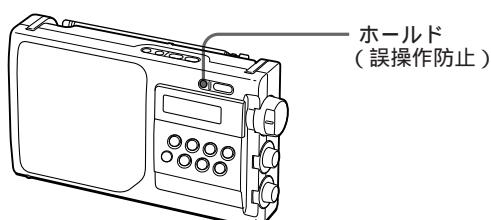
電源をいったん切って、もう一度入れます。

ご注意

- おやすみタイマーの動作中に、おやすみタイマーボタンをもう一度押すと、タイマー設定時間は再び60分に戻ります。
- おやすみタイマーの動作中にも、ラジオの操作をすることができます。
- ラジオの電源が入っていないなくても、おやすみタイマーボタンを押すと、自動的に電源が入り、60分後に切れます。

誤操作を防ぐホールド機能

不用意に電源が切れたり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。



ホールドボタンを押して表示窓に「」を点灯させます。

どのボタンを押しても「」が点滅して、操作を受け付けなくなります。

ホールドを解除するには

ホールドボタンをもう一度押して表示窓の「」を消します。